

主題：パウロの書簡における真理の重要な項目

——コリント人への第一の手紙

メッセージ 6

神の耕された地また神の建物としての召会のために神の同労者となる

聖書：Ⅰコリント 3:6-7, 9, 12, 16-17. 15:58. 16:10

I. 「わたしたちは神の同労者であり、あなたがたは神の耕された地であり、神の建物であるからです」——Ⅰコリント 3:9. ヨハネ 5:17. Ⅱコリント 6:1 前半：

- A. 団体的に、わたしたちは神の召会として、キリストが命の種としてわたしたちの中に植えられています。地上で神の住まいを建造するために、キリストはわたしたちの中で成長しなければならず、わたしたちから実ではなく、金、銀、宝石という尊い材料を生み出さなければなりません。
- B. わたしたちの命における成長は、キリストのからだとしての召会を建造します。これはわたしたちの内側の神聖な命の種としてのキリストの成長によって起こります——Ⅰヨハネ 3:9. Ⅰペテロ 1:23. コロサイ 2:19. エペソ 2:21. 4:15-16：
1. 神は、キリストの肢体よって悪巧みのない言葉の乳と固い食物を食べさせることを通して召会を成長させます——Ⅰコリント 3:2. Ⅰペテロ 2:2. ヘブル 5:12-14. ヨハネ 5:39-40. マタイ 4:4. エレミヤ 15:16。
  2. 神は、賜物のある肢体によってキリストのからだに水を注ぐことを通して召会を成長させます——Ⅰコリント 3:6. ヨハネ 7:37-39。
- C. 召会は神の耕された地として、植え、水を注ぎ、成長することをもって植物を生み出すべきですが、召会の建造のための適切な材料は金、銀、造り変えを暗示する宝石です。わたしたちは命において成長するだけでなく、また命において造り変えられる必要があります——Ⅰコリント 3:6-7, 9, 12 前半. Ⅱコリント 3:18. ローマ 12:2：
1. 造り変えられるとは、霊なるキリスト、命を与える霊としての復活におけるキリストがわたしたちの魂の中へと分与され、造り込まれて、天然の命においてわたしたちが何であるかに置き換わり、それによってキリストが増し加わり、わたしたちの天然の命が減少するということです——Ⅰコリント 15:45 後半. Ⅱコリント 3:17-18. エペソ 3:17 前半。
  2. 造り変えは外側の矯正や調節ではなく、キリストの神聖な命の要素をわたしたちの存在の中へと加えることによる、わたしたちの内側の神の命の新陳代謝の機能であり、それによってわたしたちは外側でキリストのかたちを表現することができます。
  3. 造り変えの過程は、有機的であり、また新陳代謝的です。有機的であるのは、命に関係しているからであり、新陳代謝的であるのは、その中で古い要素が排出され、新しい要素が加えられるという過程に関係しているからです——ローマ 5:10：
- a. 造り変えられる過程に自分自身を保つために、わたしたちは自分たちの日々の終わりまで、主の継続的な牧養を享受する必要があります——「この日まで、

わたしの全生涯にわたってわたしを牧養された神よ」——創 48:15 後半、詩 23:1. I ペテロ 2:25. 啓 3:7-8。

- b. 造り変えられる過程に自分自身を保つために、わたしたちは神の御顔を見つめ（創 32:30——ペニエル、II コリント 3:18. 4:6-7）、彼の御顔を尋ね求め（詩 27:8, 4）、彼の御顔をわたしたちが仕えるための供給として享受して（出 25:30. 33:11 前半）、キリストの御顔、パースンの中であらゆる事を行なう必要があります、それはわたしたちが栄光から栄光へ造り変えられるためです（II コリント 2:10. 3:18）。

D. 金、銀、宝石は三一の神（御父の性質、御子の贖い、その霊の造り変える働き）と関係があります。それらは三一の神の美德と属性におけるキリストに対するさまざまな経験を表徴しており、わたしたちのキリストに対する享受の産物です——I コリント 3:12 前半. 15:45 後半. 6:17。

E. わたしたちは神の建造のための金、銀、宝石となりつつあります。これらの材料をもって建造するために、わたしたち自身がそれらで構成されなければなりません。わたしたちは御父の性質、御子の贖い、その霊の造り変えで構成される必要があります——I コリント 3:12。

F. わたしたちはまた、造り変える霊と組み合わされて、三一の神を金、銀、宝石として聖徒たちに供給することによって彼らを成就して、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれ、彼らの美德となるようにすることによって、彼らが造り変えられるようにすることを学ぶ必要があります。これは雅歌第 1 章 10 節後半から 11 節において描写されています：

1. キリストを愛する者たちは召会生活の中に入った後、その霊の造り直しによって造り変えられ始めます——雅 1:9-16 前半. 2:1-2。
2. この造り変えの働きには、何人かの「造り変える者」との組み合わせの必要があります。彼らは、成就する者たちであり、尋ね求める者たちを助けて、神の性質を認識させ、キリストを経験させます——雅 1:11. エペソ 4:11-12。

II. わたしたちは命における成長と命における造り変えのために、わたしたちの心を対処することによって内住するキリストと協力しなければなりません。心は、人の内側の諸部分の集合体、人の総代表であって、人を動かす機関です：

A. わたしたちの心は、わたしたちの魂のすべての部分、すなわち、思い、感情、意志に（マタイ 9:4. ヘブル 4:12. ヨハネ 14:1. 16:22. 使徒 11:23）、わたしたちの霊の一部分、すなわち、良心（ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20）を加えたもので構成されています。

B. 神の御前でわたしたちの心の状態は、神の御前でわたしたちの霊、魂、体の状況と、有機的に、内在的に、密接に関係があります：

1. わたしたちの心が活動しているときはじめて、霊を活用することは役に立ちます。もし人の心が無関心であるなら、霊は内側に閉じ込められており、その能力を発揮することができません——マタイ 5:3, 8. 詩 78:8. エペソ 3:16-17. 啓 3:14-22. 申 4:25 とフットノート 1。
2. 魂はパースンそのものですが、心は行動におけるパースンです。心は、わたした

ちの全存在の行動の機関、行動の執行者です。

3. わたしたちの物質の体の活動と行動は、わたしたちの物質の心臓に依存しています。同様に、わたしたちの日常生活、わたしたちがどのように活動し振る舞うかは、わたしたちがどのような心理上の心を持っているかにかかっています。

C. 心は、命の入り口と出口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正しくなければ、霊の中の命は妨げを受け、命の法則は自由に妨げなしに働くことができず、わたしたちの存在の各部分に到達することができません。命は大きな力を持っていますが、この大きな力はわたしたちの小さな心によって制御されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。

**Ⅲ. わたしたちは命における成長と命における造り変えのために、以下の四つの特徴が保たれるようにわたしたちの心に対処することによって主と協力する必要があります：**

A. 神は、わたしたちの心が柔らかいことを願っています：

1. 神はわたしたちの心に対処するとき、わたしたちの肉から石の心を取り除き、わたしたちに肉の心、すなわち柔らかい心を与えます——エゼキエル 36:26。
2. 心が柔らかいことが意味するのは、わたしたちの心の意志が主に対して服従的であり、従順であり、頑固でなく、反逆的でないことです——参照、出 32:9。
3. 柔らかい心とは、その中でキリストが自由に成長することのできる良い地であり、それはこの世的な往来によってかたくなにされていない心、自己追求のない心、時代の思い煩いと富の惑わしのない心です——マタイ 13:3-9, 18-23。
4. 神はご自身の愛を用いてわたしたちを感動させることによって、わたしたちの心を柔らかくします。もし愛がわたしたちを感動させることができなければ、神はご自身の御手を用い、環境を通して、わたしたちを取り扱い、ついにはわたしたちの心が柔らかくなるようにします——Ⅱ コリント 5:14, 4:16-18. ヘブル 12:6-7. 参照、エレミヤ 48:11。

B. 神は、わたしたちの心が純粋であることを願っています：

1. 純粋な心とは、神を愛し神を求める心です。それは神以外に、他の愛、傾向、願いを持ちません——詩 73:25. 参照、エレミヤ 32:39。
2. わたしたちの心は、神に対して単一であるべきです。そうすればわたしたちは、神に対して罪を得ることと神の臨在を失うことだけを恐れます——詩 86:11 後半. イザヤ 11:1-2。
3. 心が純粋であるとは、神の栄光のために神のみこころを完成するという単一な目標を持つということです（マタイ 5:8）。わたしたちの目標は、最も満ち満ちた程度までキリストを享受し、獲得することであるべきです（ピリピ 3:7-14）。
4. わたしたちは、「純粋な心で主を呼び求める人たちと共に」キリストを追い求めなければなりません——Ⅱ テモテ 2:22. Ⅰ テモテ 1:5. 詩 73:1。

C. 神は、わたしたちの心が愛する心であることを願っています：

1. 愛する心とは、感情が神を愛し、神を求め、神を渴望し、神を慕い求め、主と個人的で、愛情に満ちた、私的で、霊的な関係を持っている心です——42:1-2. 雅 1:1-4。
2. わたしたちは心を何度も何度も主に向け、心を絶えず新しくしてもらわなければ

なりません。それはわたしたちが主に対して新しく新鮮な心を持つためです——  
Ⅱコリント 3:16. 補充本詩歌、240 番と 241 番。

3. 霊的な経験すべては、心の中の愛から始まります。もしわたしたちが主を愛さなければ、どんな霊的な経験も持つことができません——参照、エペソ 6:24. 啓 2:4-5。
4. 主に対するわたしたちの愛は、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主の権威をもって主のために語らせます。もしわたしたちが極みに至るまで主を愛するなら、わたしたちは主で満たされ、主をあふれ流し出すでしょう——ヨハネ 21:15-17. マタイ 26:6-13. 28:18-20。

D. 神は、わたしたちの心が平安であることを願っています：

1. 平安である心とは、良心にとがめがなく、罪定めがなく、責められるところのない心です——使徒 24:16. Ⅰヨハネ 3:19-21. ヘブル 10:22。
2. もしわたしたちが神の臨在の光の中で自分の罪を告白するなら、わたしたちは彼の赦しと清めを受けます。それによってわたしたちは、正しく純粋な良心をもって、神との絶え間のない交わりを享受します——Ⅰヨハネ 1:7, 9. Ⅰテモテ 1:5. 3:9。
3. 祈りの中で神との交わりを実行した結果は、わたしたちが神の平安を享受することです。神の平安とは實際上、平安としての神が、キリストの中でわたしたちの心と思考のために歩哨に立ち、わたしたちを平静にし安らかに保つこと——ピリピ 4:6-7。
4. わたしたちは、キリストの平安にわたしたちの心の中で裁定させ、互いに赦し合い、一人の新しい人を着る必要があります——コロサイ 3:13-15。

IV. わたしたちの心を柔らかく、純粋で、愛し、平安である状態に保つことは、木（天然の人の性質）、草（墮落した人、肉の人）、刈り株（命がないこと）という価値のない材料をもって建造することからわたしたちを救います。これらの材料をもって建てることは、聖なる所に関する罪科を犯すことであり、神の宮また神の建物としての召会を損なうことです——民 18:1. Ⅰコリント 3:12 後半, 16-17：

- A. わたしたちの日常生活の中で犯す罪がありますが、主の働き人はさらなる種類の罪を犯すことがあり得ます。それは神の働きの中での罪です。働きの中で罪を犯すことは、神の聖、栄光、主権において神を怒らせることを意味します。神の働きの中で、神のみこころと相入れないあらゆることは罪であり、聖なる所に関する罪科です。
- B. 神の働きの中で、わたしたちが決して忘れるべきでない三つの重要な考慮があります。もしこれら三つの点どれかにおいて失敗するなら、わたしたちは聖なる所に対して罪科を犯しているのです：
  1. 神の働きの開始は、彼のみこころにしたがってでなければなりません。いかなる働きもわたしたち自身から開始されることはできません——ローマ 11:36。
  2. 神の働きの前進は、彼の力にしたがってでなければなりません。いかなる働きもわたしたち自身の力によって遂行されることはできません——使徒 1:8. ゼカリヤ 4:6. ピリピ 4:13. Ⅱテモテ 2:1。

3. 神の働きの結果は、彼の栄光のためでなければなりません。いかなる働きもわたしたち自身の栄光という結果になるべきではありません——ヨハネ 7:18.

17:4. エペソ 3:21. I コリント 10:31. イザヤ 43:7. II コリント 4:5.

- V. わたしたちは、キリストにご自身をわたしたちの中へと造り込んでいただくことによって（エペソ 3:17 前半）、「主の働きを行なっている」（I コリント 16:10）、「主の働きに満ちあふれている」（15:58）神の同労者となることを絶えず切望する必要があります。それは神の耕された地、神の建物である召会のために（I コリント 3:9）、彼がわたしたちの中で成長し（コロサイ 2:19）、わたしたちを造り変え（II コリント 3:18）、わたしたちから流れ出て（ヨハネ 7:37-38）、他の人たちの中へにご自身を造り込むことができるようになるためです。

© 2023 *Living Stream Ministry*